

①  
TAM

聖徒たちと歩む聖書  
アダム その1

創世記2:4~25

「人の始まり」

～楽園での日々・エデン契約～

**「主イエスを、喜ぶことは」**

**p78**

主イエスを よころぶことは  
あなたの ちからです

かんしゃを ささげることは  
あなたの ちからです

あさに ゆうに とこしえまでも  
王(おう)なる 主を たたえましょう

あさに ゆうに とこしえまでも  
王(おう)なる 主を たたえましょう

主イエスを よころぶことは  
わたしの ちからです

かんしゃを ささげることは  
わたしの ちからです

あさに ゆうに とこしえまでも  
王(おう)なる 主を たたえましょう

あさに ゆうに とこしえまでも  
王(おう)なる 主を たたえましょう

平和の挨拶

「心にある この安きを」

p17



1. ころにある この安(やす)きを  
奪(うば)うもの 地(ち)になし

試(ころ)みにて くるしむとも  
わが安(やす)き 動(うご)かじ

※ 我(わが)ものなる 主を宿(やど)す  
そのよろこび 言(い)いがたし

主、宣(のたま)えり 我(われ)などで  
汝(なれ)を すてて 去(さ)るべき

※意味

(主は言われる。私はどうして  
あなたを捨てて 去ることができようか。)

2. この安(やす)きを 受(う)けしときに  
雨雲(あまぐも)は 晴(は)れたり

悩(なや)みあらず なみだもなく  
歌声(うたごえ)の あるのみ

※ 我(わが)ものなる 主を宿(やど)す  
そのよろこび 言(い)いがたし

主、宣(のたま)えり 我(われ)などで  
汝(なれ)を すてて 去(さ)るべき

※意味

(主は言われる。私はどうして  
あなたを捨てて 去ることができようか。)

3. この安(やす)きを もてる土(つち)の  
器(うつわ)なる わが実(み)も

やがてイエスに 会(あ)わば変(か)わらん  
栄(さか)えある 姿(すがた)に

※ 我(わが)ものなる 主を宿(やど)す  
そのよろこび 言(い)いがたし

主、宣(のたま)えり 我(われ)などで  
汝(なれ)を すてて 去(さ)るべき

※意味

(主は言われる。私はどうして  
あなたを捨てて 去ることができようか。)



**【聖書朗読】**

**創世記 1章26節～2章3節**

**p2(新改訳第三版)**

## 【聖書朗読 創世記2:4～25】

2:4 これは天と地が創造されたときの経緯である。神である【主】が地と天を造られたとき、

2:5 地には、まだ一本の野の灌木もなく、まだ一本の野の草も芽を出していなかった。それは、神である【主】が地上に雨を降らせず、土地を耕す人もいなかったからである。

2:6 ただ、水が地から湧き出て、土地の全面を潤していた。

2:7 神である【主】は土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで人は生きものとなった。

2:8 神である【主】は東の方エデンに園を設け、そこに主の形造った人を置かれた。



## 【聖書朗読 創世記2:4～25】

2:9 神である【主】は、その土地から、見るからに好ましく食べるのに良いすべての木を生えさせた。園の中央には、いのちの木、それから善悪の知識の木を生えさせた。

2:10 一つの川が、この園を潤すため、エデンから出ており、そこから分かれて、四つの源となっていた。

2:11 第一のものの名はピション。それはハビラの全土を巡って流れる。そこには金があった。

2:12 その地の金は、良質で、また、そこにはベドラハとしまめのうもあった。

2:13 第二の川の名はギホン。それはクシュの全土を巡って流れる。

2:14 第三の川の名はティグリス。それはアシュルの東を流れる。

第四の川、それはユーフラテスである。

## 【聖書朗読 創世記2:4～25】

2:15 神である【主】は人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。

2:16 神である【主】は人に命じて仰せられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。

2:17 しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べる時、あなたは必ず死ぬ。」

2:18 神である【主】は仰せられた。「人が、ひとりでいるのは良くない。わたしは彼のために、彼にふさわしい助け手を造ろう。」

2:19 神である【主】は土からあらゆる野の獣と、あらゆる空の鳥を形造り、それにどんな名を彼がつけるかを見るために、人のところに連れて来られた。人が生き物につける名はみな、それがその名となった。

## 【聖書朗読 創世記2:4～25】

2:20 人はすべての家畜、空の鳥、野のあらゆる獣に名をつけた。しかし人には、ふさわしい助け手が見つからなかった。

2:21 神である【主】は深い眠りをその人に下されたので、彼は眠った。そして、彼のあばら骨の一つを取り、そのところの肉をふさがれた。

2:22 神である【主】は、人から取ったあばら骨をひとりの女に造り上げ、その女を人のところに連れて来られた。

2:23 人は言った。「これこそ、今や、私の骨からの骨、私の肉からの肉。これを女と名づけよう。これは男から取られたのだから。」

2:24 それゆえ男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。

2:25 人とその妻は、ふたりとも裸であったが、互いに恥ずかしいと思わなかった。

①  
TAM

聖徒たちと歩む聖書  
アダム その1

創世記2:4~25

「人の始まり」

～楽園での日々・エデン契約～

## 【今日のアウトライン】

0. ふりかえり

I. 男の創造

II. 女の創造

III. エデン契約とは？

IV. まとめと適用

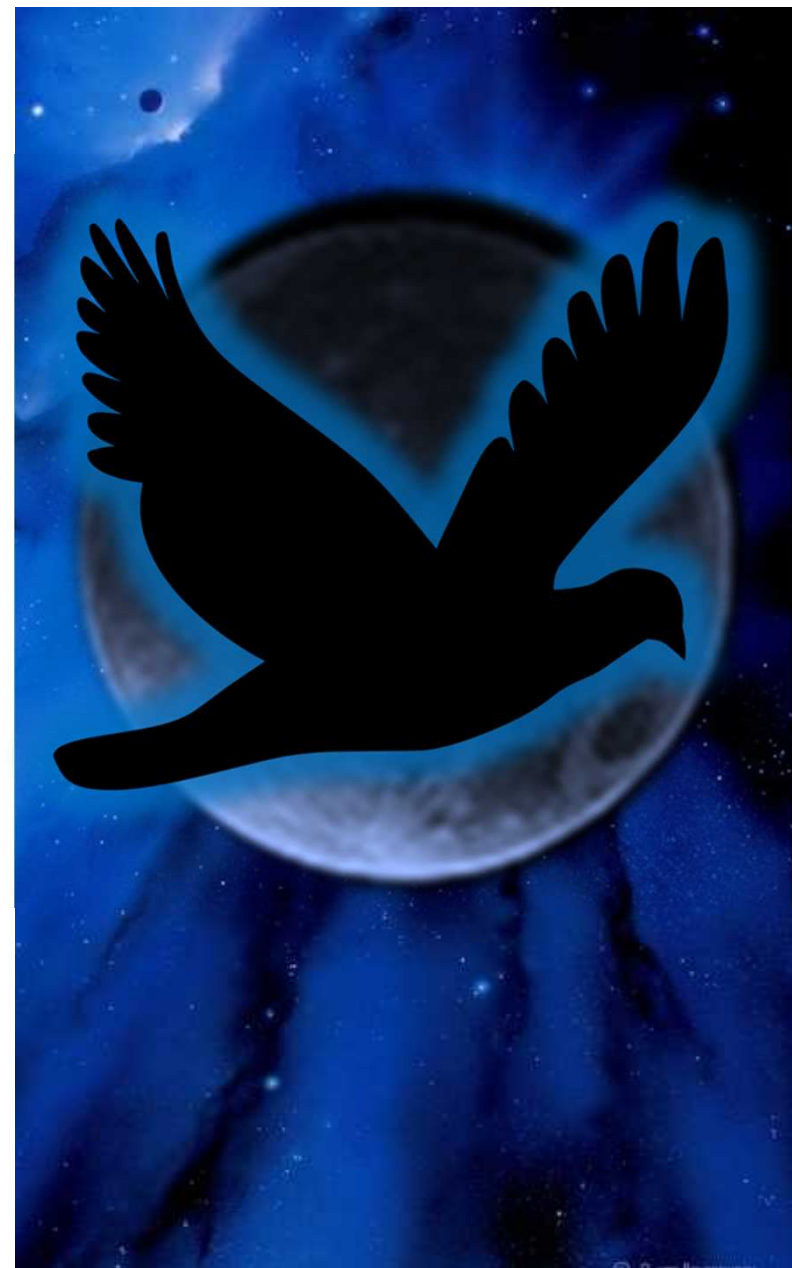
神の祝福を味わうために



## 【最初の天地の創造】 創世記1:1～2

- はじめに、神が天地を創造された。
- 最初の被造物サタンが墮落し、裁かれ、最初の天地である宇宙は、混沌と化した。
- 暗闇の世界を、聖霊が抱き、地上を再創造していく。

➡それが、6日間の天地創造。



世界の破壊は、  
二段階で起こった！

天地創造

創世記1章1節

地の再創造(エデン)

創世記1章3〜2章3節

サタンの  
墮落

人類の  
墮落

キリストの十字架



キリストによる  
←最後の裁き

最後のアダム  
←キリストの  
再臨

現在(教会時代)

千年王国(エデンの回復)

新天新地

黙示録21〜22章

## 天地創造の6日間

1日目	光あれ!! ... <b>神の栄光(シャカイナグローリー)</b> が出現!!
2日目	空と海の出現 ...水が天と地に分けられた。
3日目	陸地の出現、植物の創造
4日目	太陽と月、星々の創造 ...物理的光源の創造
5日目	海と空の生き物の創造 ...魚や鳥の創造
6日目	地上の生き物の創造 ...けものや昆虫、地上の動物 人間の創造 ...“神のかたち“に似せて




## 天地創造の6日間

1日目	光あれ!! ...神の栄光(シャカイナグローリー)が出現!!
2日目	空と海の出現 ...水が天と地に分けられた。
3日目	陸地の出現、植物の創造
4日目	太陽と月、星々の創造 ...物理的光源の創造
5日目	海と空の生き物の創造 ...魚や鳥の創造
6日目	地上の生き物の創造 ...けものや昆虫、地上の動物 人間の創造 ...“神のかたち“に似せて

7日目を、神は聖とされ、安息された。

# I. 男の創造

創世記2:4~17



『これは、天と地が創造されたときの経緯である』

創世記2:4

『これは、天と地が創造されたときの**経緯**である』

創世記 2:4

経緯 …“トルドット” 歴史、系譜、区切りのタイトル。  
一つの時代区分を現すことば。

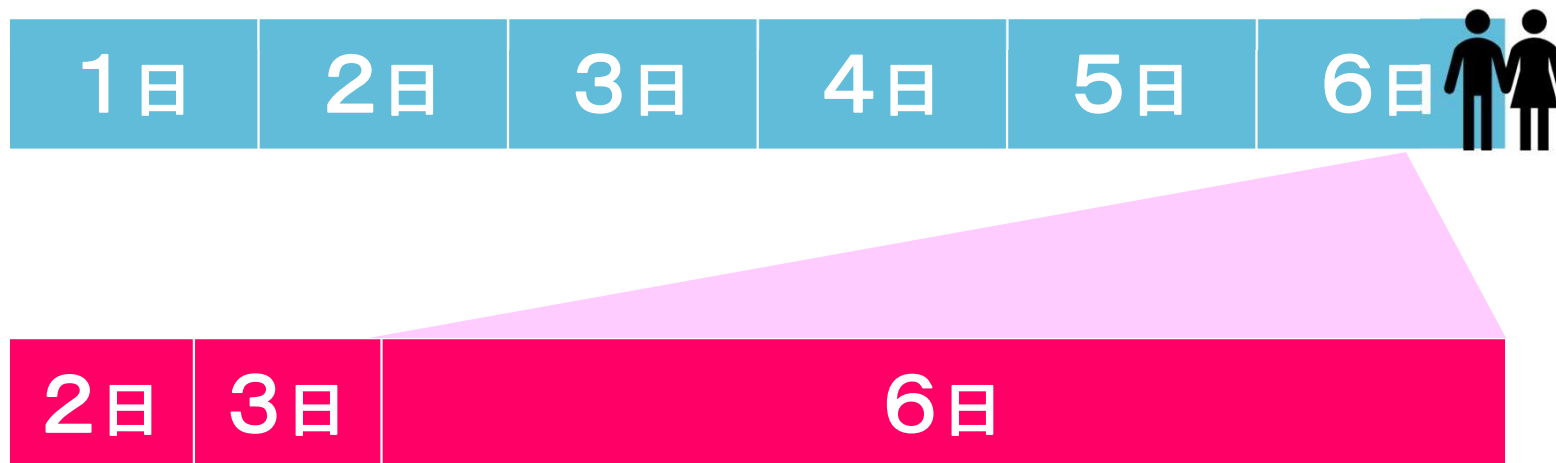
創世記は、11のトルドットからなる。

(※1番目のトルドットは、2:4～4:26まで。)

【1章と2章の関係】 6日間の創造後に、なぜ再び人の創造が？

■再記述の法則■ …ある出来事を、視点を変えて、もう一度記す。

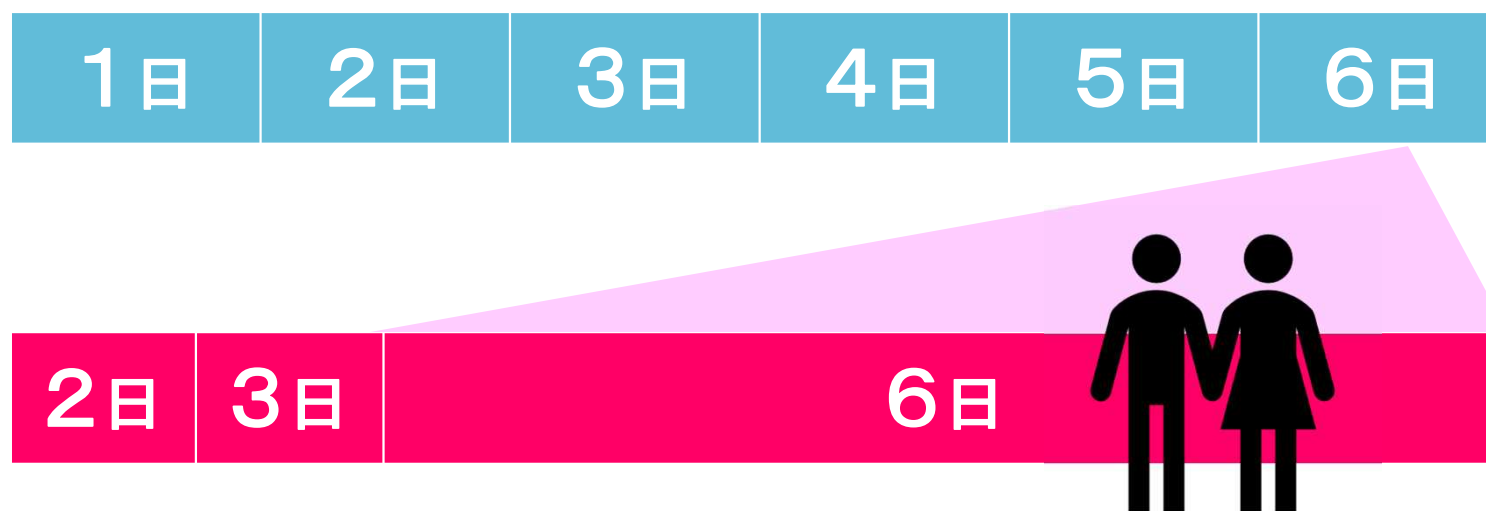
【1章】 → 6日間の創造を時系列に記している。



【1章と2章の関係】 6日間の創造後に、なぜ再び人の創造が？

■再記述の法則■ …ある出来事を、視点を変えて、もう一度記す。

【1章】 → 6日間の創造を時系列に記している。



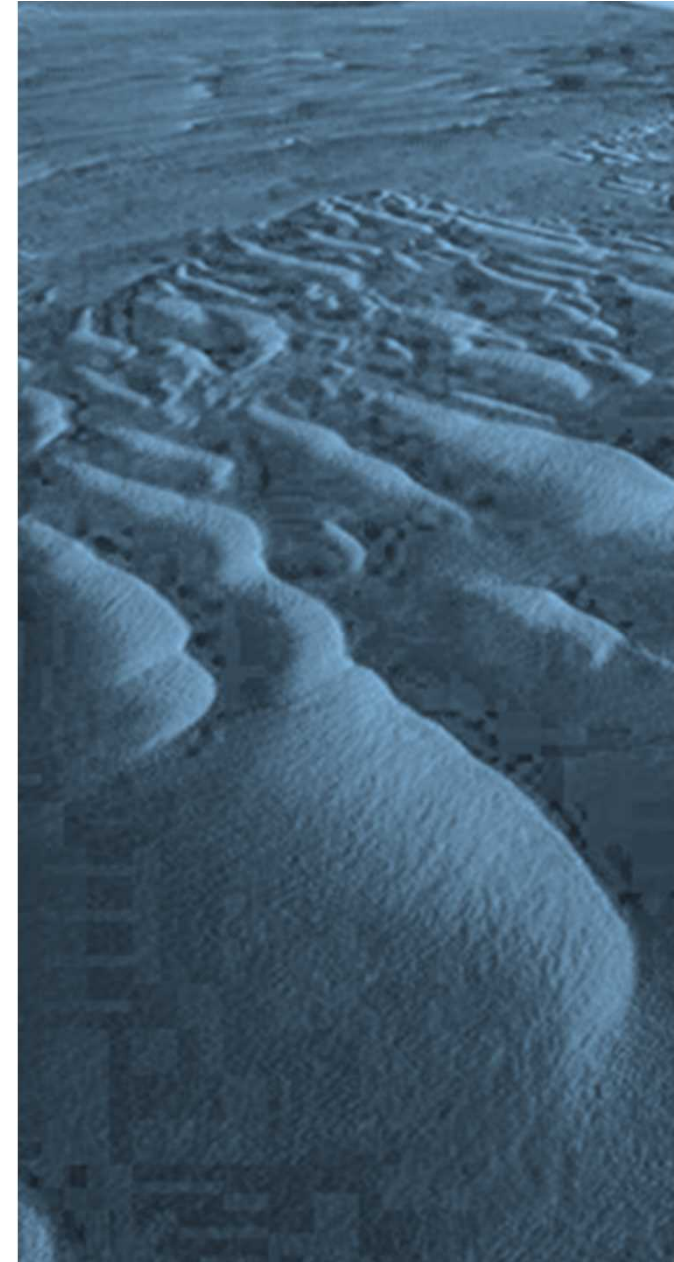
【2章】 → 人類の創造にクローズアップ!!

## 【エデンの園の創造】 創世記2:4~6

【主】が地と天を造られたとき、地には、まだ一本の野の灌木もなく、まだ一本の野の草も 芽を出していなかった。それは、神である【主】が地上に雨を降らせず、土地を耕す人もいなかったからである。ただ、水が地から湧き出て、土地の全面を潤していた。

■人が住む **エデンの園** にクローズアップ!!

■ 水が潤す ⇒ 最も重要な創造の前段階!!



## 【人の創造】 創世記2:7

神である【主】は土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。  
そこで人は生きものとなった。

※土のちり(アダマー) ⇒ 人(アダム)

...大地の元素。エッセンス。

※形造り(ヤツツアー) ...無からではなく、  
あるものを利用して造ること。

※息(ネシャマー) ...息吹、霊。

⇒神のいのちの息を吹き込まれた。

⇒人は死ぬとき、「息をひきとる」



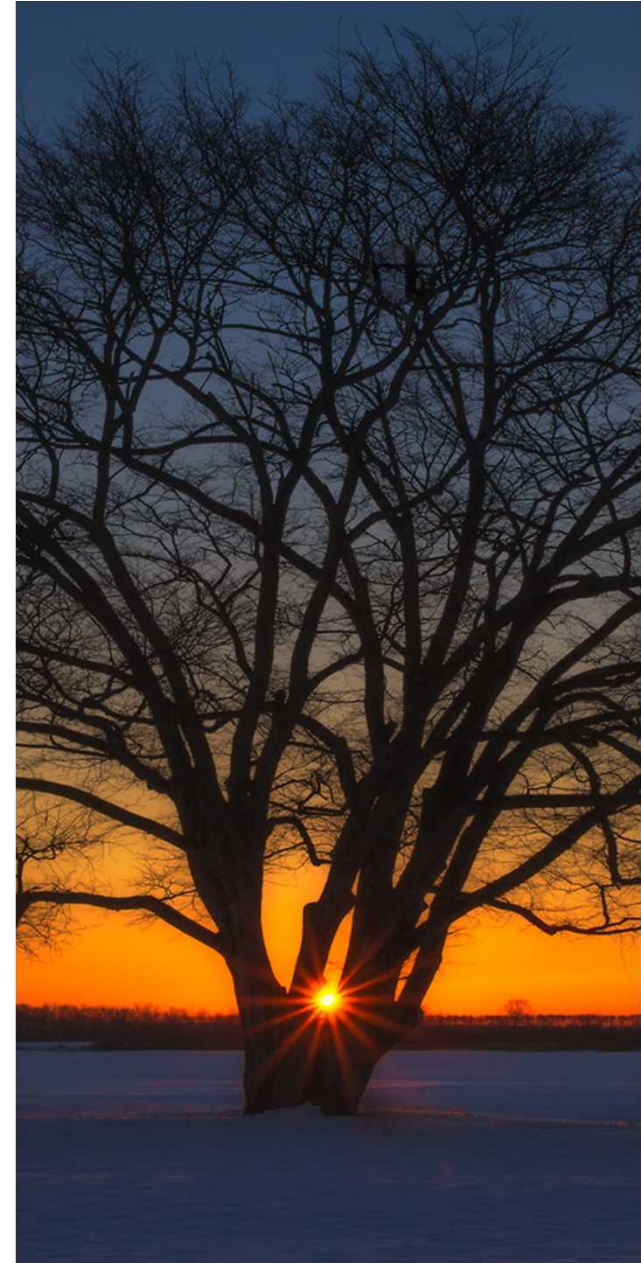


【エデン園に置かれた人】 創世記2:8～9  
神である【主】は東の方エデンに園を設け、そこに主の形造った人を置かれた。神である【主】は、その土地から、見るからに好ましく食べるのに良いすべての木を生えさせた。園の中央には、いのちの木、それから善悪の知識の木を生えさせた。

※置かれた ⇒ 完全に整えられた環境に。

※いのちの木 ⇒ アダムは食べてた？

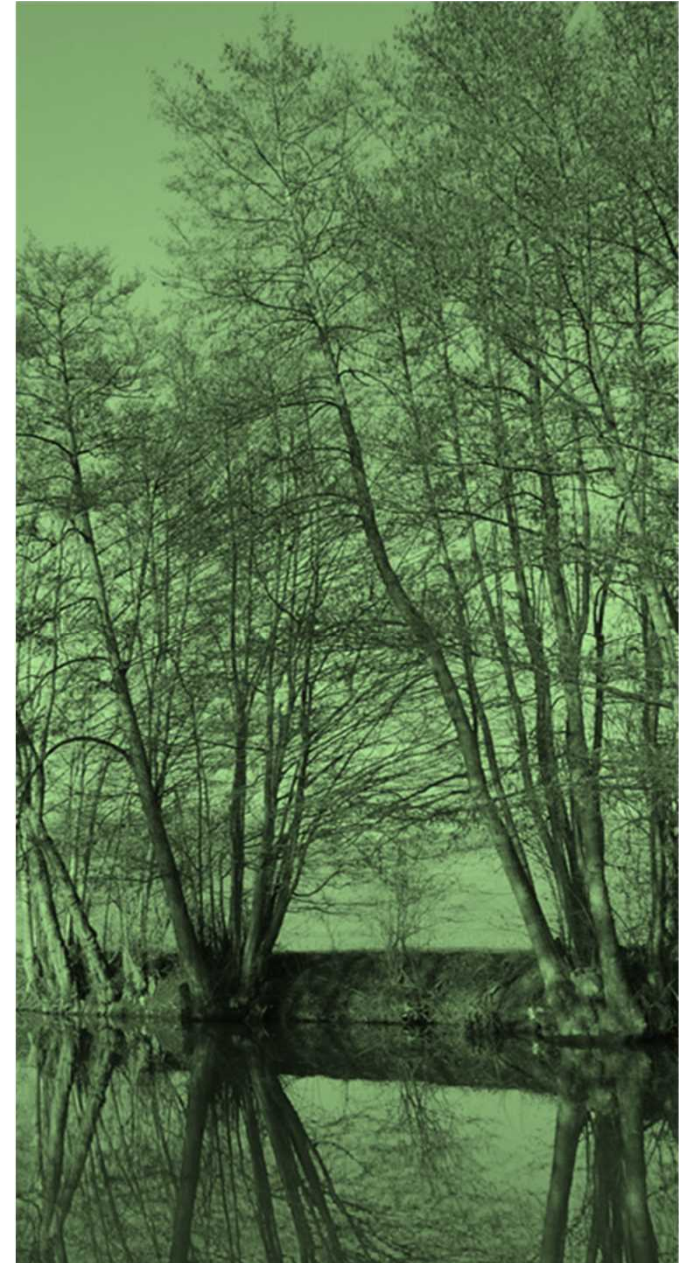
新天新地には自生(黙示録22:2)



## 【エデンの地形】 創世記2:10~14

一つの川が、この園を潤すため、エデンから出ており、そこから分かれて、四つの源となっていた。第一のものの名はピション。それはハビラの全土を巡って流れる。そこには金があった。その地の金は、良質で、また、そこにはベドラハとしまめのうもあった。第二の川の名はギホン。それはクシュの全土を巡って流れる。第三の川の名はティグリス。それはアシュルの東を流れる。第四の川、それはユーフラテスである。

■大洪水前なので、今とは全く地形が異なる!!  
エデンの園はどこに？ 詮索しても無意味。



## 【人の使命・役割】 創世記2:15～16

神である【主】は人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。

神である【主】は人に命じて仰せられた。

※置く ...ノア。安息を与える。休ませる。

※耕させ ...アボダー。仕事、奉仕、礼拝。

労働 = 奉仕 = 礼拝

来たるべき神の国での聖徒の仕事は、  
奉仕であり、礼拝!!

エデンの園は、安息の地であり、  
労働の場であり、礼拝の聖所でもある!!



【たった一つの禁止事項】 創世記2:17  
「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、**善悪の知識の木**からは取って食べてはならない。それを取って食べるとき、あなたは必ず死ぬ。」

### ※**善悪の知識の木**

...ユダヤの伝承では、イチジク。

西欧では、リンゴ。

何かは分からないし、問題ではない。

■**たった一つの禁止事項は、神のテスト。**  
園をまかせるのにふさわしいかどうか



## Ⅱ. 女の創造

創世記2:18~25



## 【助け手として】 創世記2:18

神である【主】は仰せられた。「人が、ひとりであるのは良くない。わたしは彼のために、彼にふさわしい**助け手**を造ろう。」

- 常に、神の意志が先にある。  
人は、御心を求めるように導かれる。

※ **助け手** ...エゼル。神のご性質の一つ。  
エリエゼル(助け手なる神)  
聖霊なる神の御名でもある。

- 助け手という言葉への違和感は罪の結果

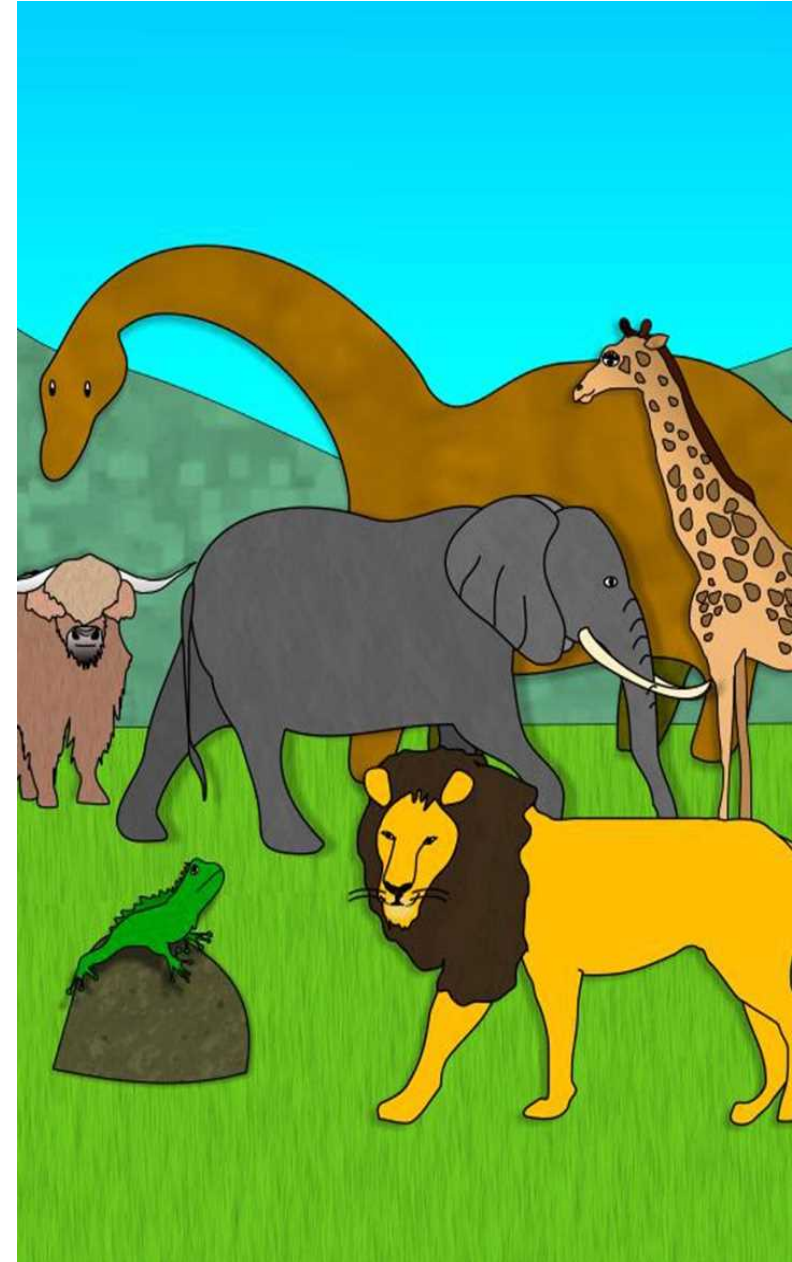


## 【名付け】 創世記2:19

神である【主】は土からあらゆる野の獣と、あらゆる空の鳥を形造り、それにどんな名を彼がつけるかを見るために、人のところに連れて来られた。人が生き物につける名はみな、それがその名となった。

※**名付ける** ...権威を現す行為。  
神の権威を正しく行っているか？  
名付けの様子を見ている神の姿。

- すべての獣、鳥に1日で名付けた？
  - ・最初の原種は、遙かに少なかった。



## 【見つかった空白】 創世記2:20

人はすべての家畜、空の鳥、野のあらゆる獣に名をつけた。しかし人には、ふさわしい助け手が見つからなかった。

- 人に名付けをさせた神の意図は？  
欠けているものを気づかせること。

※動物は、雌雄一つがいずついるのに、  
人には、ふさわしい助け手がいない!!





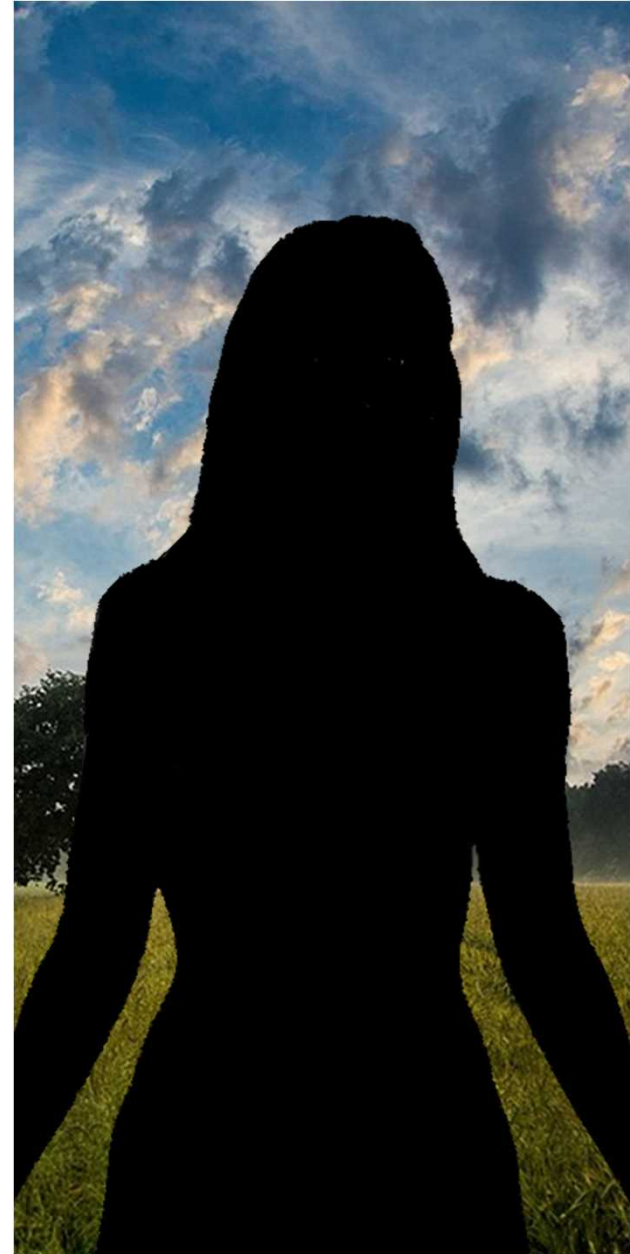
## 【女の創造】 創世記2:21～22

神である【主】は深い眠りをその人に下されたので、彼は眠った。そして、彼の**あばら骨**の一つを取り、そのところの肉をふさがれた。

神である【主】は、人から取ったあばら骨をひとりの女に造り上げ、その女を人のところに連れて来られた。

※**あばら骨** ...ツェラー。脇腹。骨と肉。

神は男の体の要素によって女を造った。



## 【男による宣言】 創世記2:23

人は言った。「これこそ、今や、私の骨からの骨、私の肉からの肉。これを女と名づけよう。これは男から取られたのだから。」

### ※骨からの骨、肉からの肉

...まさに、はらから。同胞。

■ 男と女と結婚関係を現す、契約の宣言でもある。

### ※女(イシャー)、男(イシュ)

名づけは、男の女への権威と責任を現す。



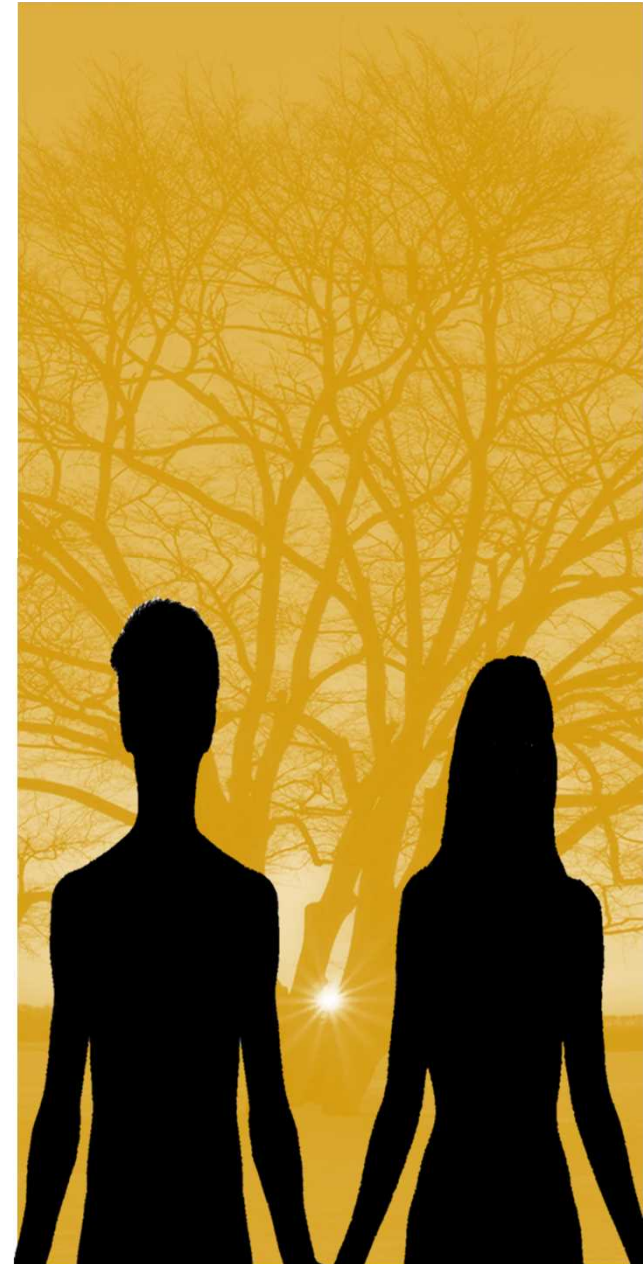
## 【最初の男女】 創世記2:24～25

それゆえ男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。人とその妻は、ふたりとも裸であったが、互いに恥ずかしいと思わなかった。

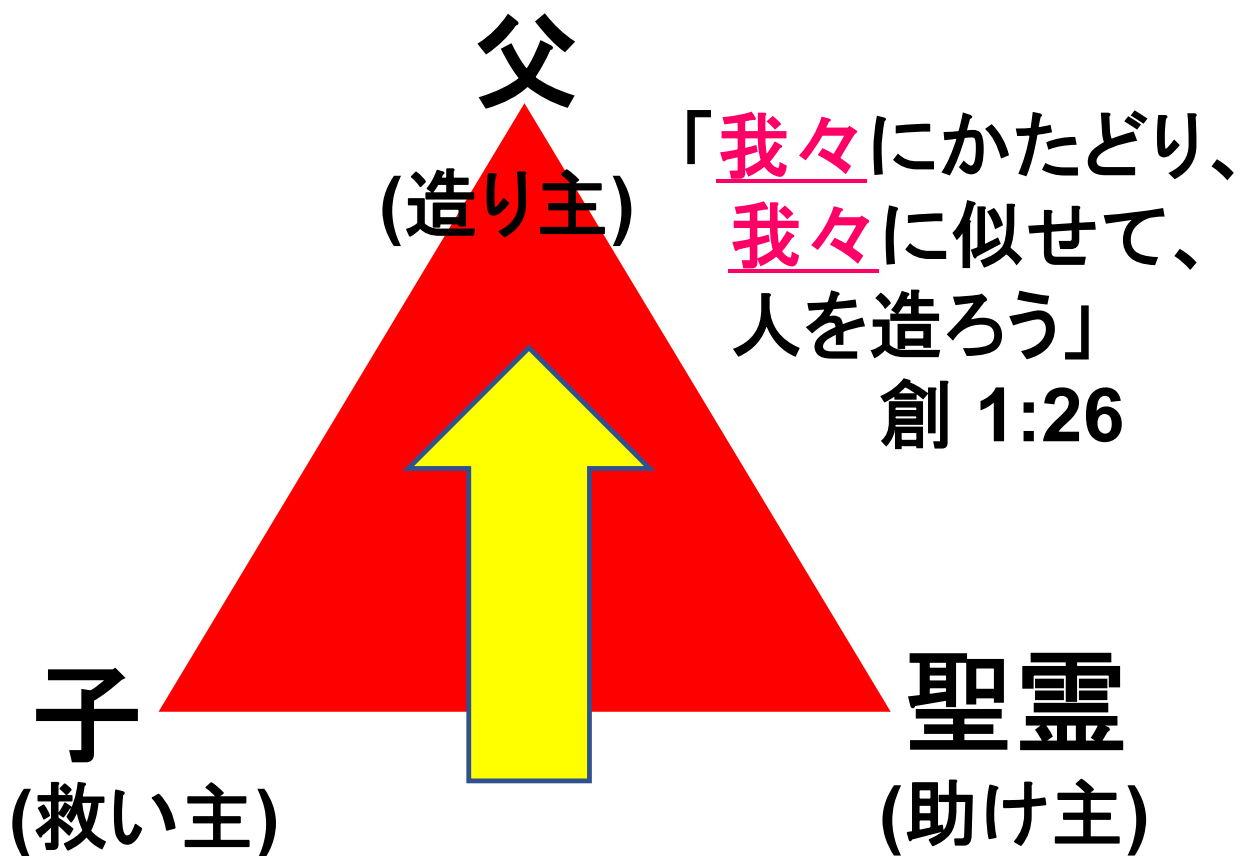
※男と女の結婚は、神が定めた創造の秩序。

※隠すべきものが何もない、無垢の状態。

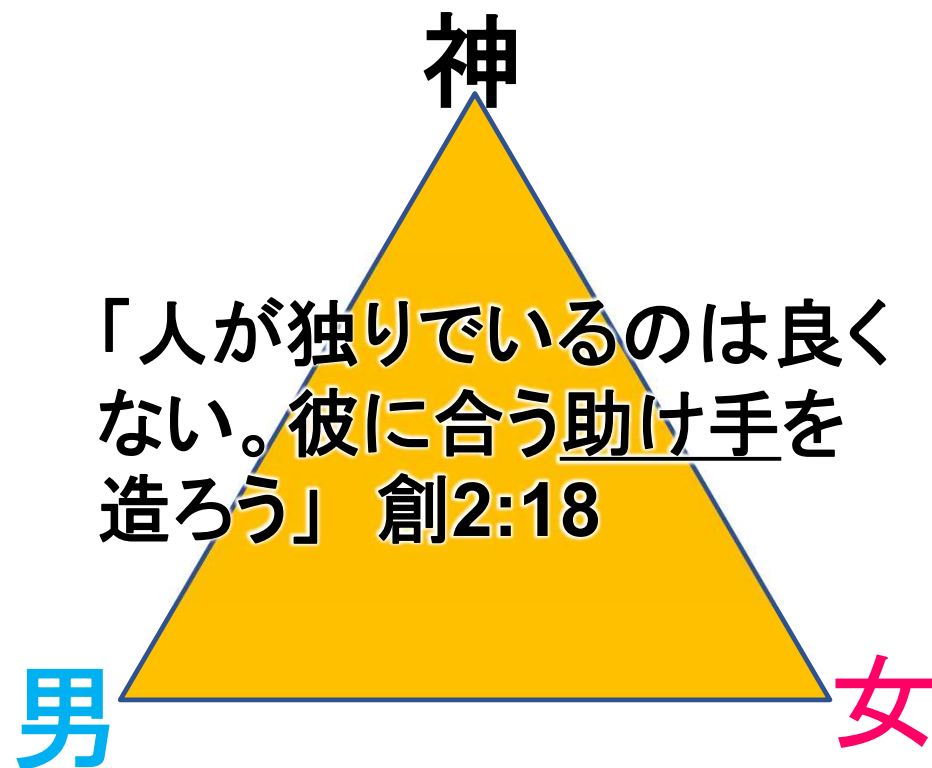
隠し立てすることもない、理想的な男女関係。



## 【神が男と女を作られた理由】



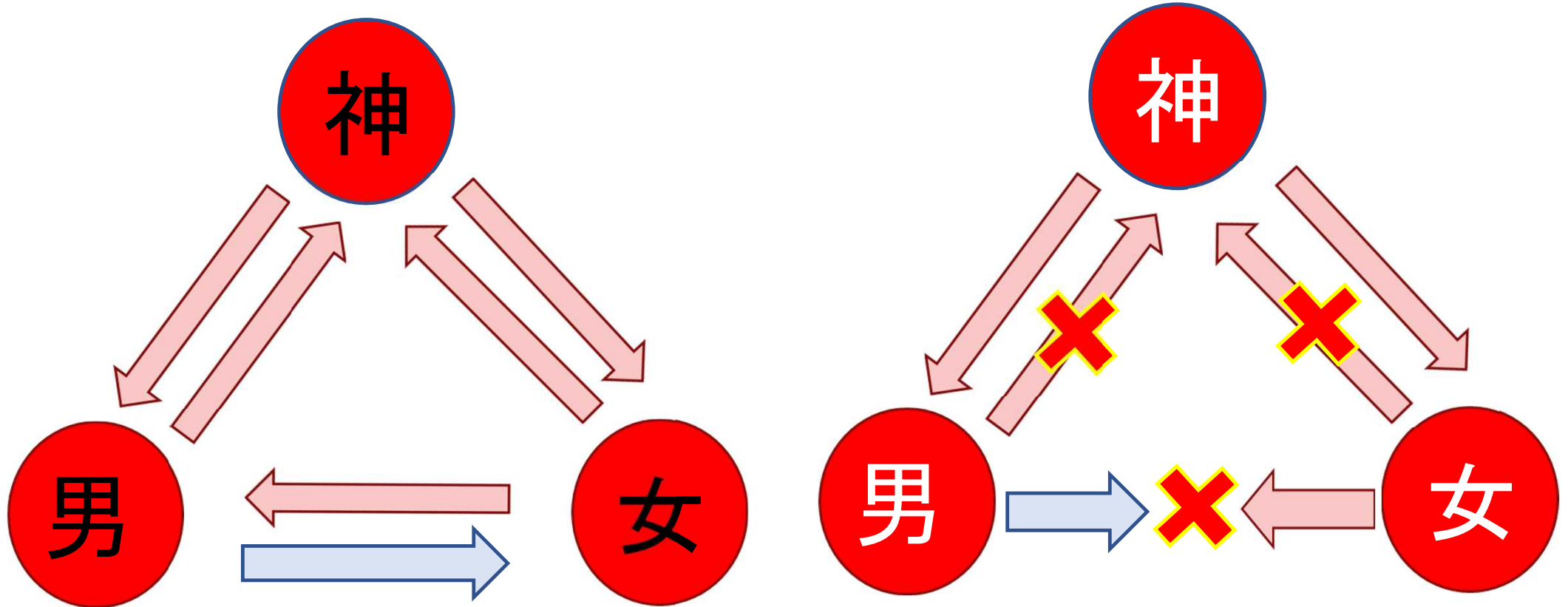
完全な関係(三位一体の神)



完全な関係の写し

人との神のあるべき関係

壊れた関係 ⇒ 「罪」



「あなたの足音が園の中に聞こえたので、  
恐ろしくなり、隠れております。」創3:10



### Ⅲ. エデン契約とは？

## 【人の創造の目的】 創世記1:26～27

神は仰せられた。「さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配するように。」

神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。

※完全な愛の関係性を持った神に似せて。

※神に似た性質をもって、この地上を治めるため。



## 【エデン契約の祝福】 創世記1:28～29

神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。  
「生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ」  
神は仰せられた。「見よ。わたしは、全地の上にあつて、種を持つすべての草と、種を持って実を結ぶすべての木をあなたがたに与える。それがあなたがたの食物となる。」

■ 神の契約そのものが、本来、祝福である!!

人は、その特性と特権を、最大限に味わい、喜び尽くすよう、命じられた。





## 【エデン契約とは？】

\* 神がアダム(人類)と最初に結んだ契約。

## 【エデン契約の内容】 創世記1:28～29

①「生めよ。ふえよ。地を満たせ」

⇒ 人類が増え広がることの祝福!!

②「すべての生き物を支配せよ」

⇒ 人類の地上の支配権。管理権。

③「すべての草との木を与える」

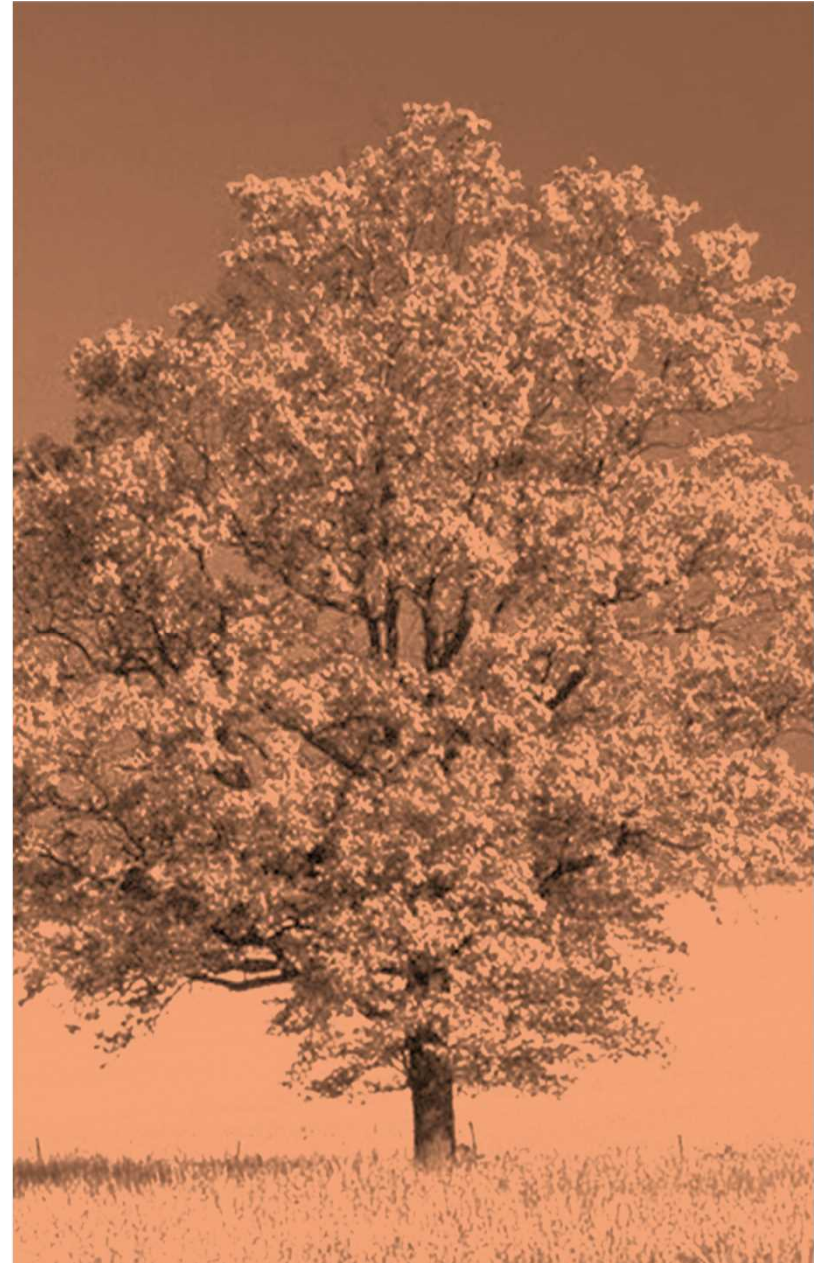
⇒ 食物を与える約束。(当初は肉食禁止)



【たった一つの禁止事項】 創世記2:17  
「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、**善悪の知識の木**からは取って食べてはならない。それを取って食べる時、あなたは必ず死ぬ。」

■ たった一つの禁止事項は、神のテスト。  
園をまかせるのにふさわしいかどうか？

■ 一定期間守れば、合格だった。  
無垢の状態から、きよさが確定され、  
永遠の祝福が約束されるはずだったが...





**IV. まとめと適用**

**神の祝福を味わうために**

**【神の祝福を味わために】**

**■人が造られた目的を確認しよう！**

**完全な愛の関係を持った神に似せて、人は造られた。**

**神の愛を味わい、**

**神の愛をもって、地を治め、恵みを味わうために。**